

コニカミノルタグループ 2007年3月期 第1四半期決算説明会

2006年8月3日
コニカミノルタホールディングス株式会社
常務執行役 松本泰男

将来見通しに係わる記述についての注意事項

本資料で記載されている業績予想、将来予想は現時点における事業環境に基づき当社が判断した予想であり、今後の事業環境により実際の業績が異なる場合があることをご承知おき下さい。

なお、本資料におきましては、四捨五入による億円単位で表示しています。

連結業績



【億円】

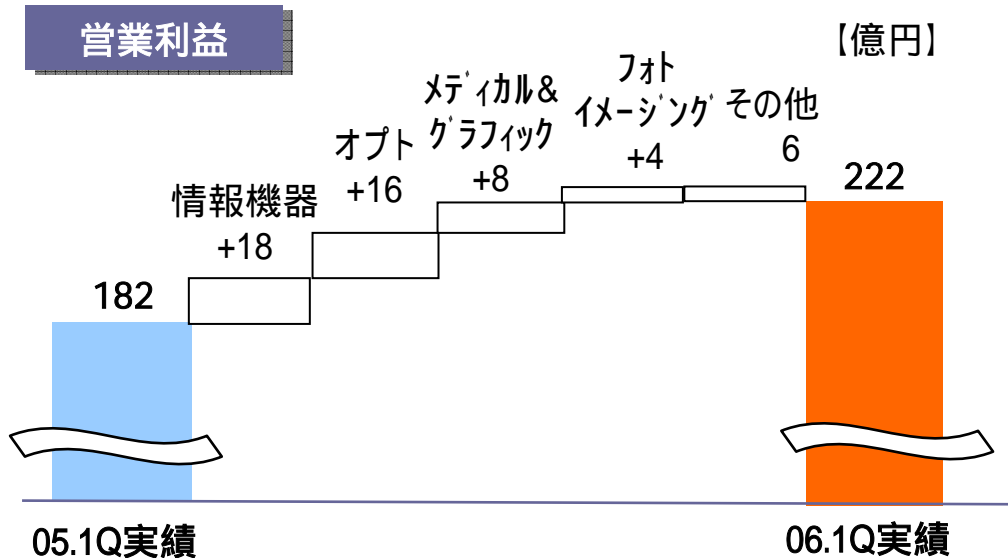
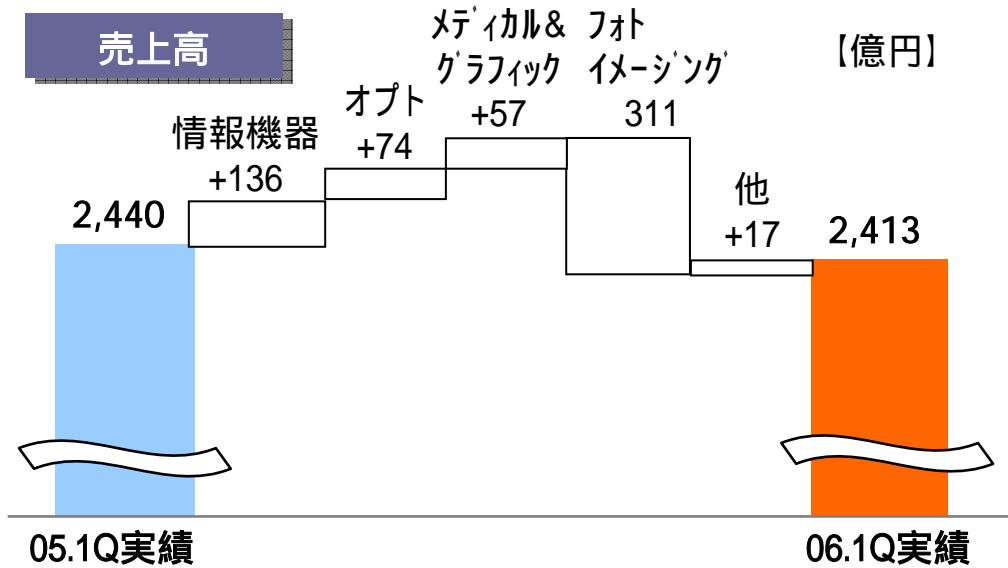
	a 06年度1Q実績	b 05年度1Q実績	a/b 伸張率	c 06年度上期計画	a/c 進捗率
売上高	2,413	2,440	99%	4,800	50%
売上総利益	1,181	1,171	101%	-	-
営業利益	222	182	122%	300	74%
経常利益	215	178	121%	260	83%
税前利益	223	135	165%	-	-
当期純利益	106	73	144%	110	96%
設備投資	170	112	152%		
減価償却費	120	124	97%		
研究開発費	167	156	107%		
EPS	19.89	13.78			
ROE (年換算)	14.0%	8.5%			
P/L為替レート			増減		増減
US \$	114.50	107.69	6.81	115.00	0.50
ユーロ	143.78	135.57	8.21	135.00	8.78

セグメント別 売上高/営業利益

【億円】

	売上高					営業利益				
	06年度 1Q実績	05年度 1Q実績	伸張率	06年度 上期計画	進捗率	06年度 1Q実績	05年度 1Q実績	伸張率	06年度 上期計画	進捗率
情報機器	1,508	1,372	110%	3,040	50%	161	143	112%	290	56%
オプト	321	247	130%	610	53%	52	36	143%	85	61%
メディア&グラフィック	364	307	119%	740	49%	27	19	144%	35	78%
その他事業	34	21	157%	70	48%	4	5	79%	10	38%
事業計 (フォトイメージング除く)	2,227	1,948	114%	4,460	50%	244	203	120%	420	58%
フォトイメージング	171	482	35%	300	57%	3	7	-	45	-
HD消去他	14	10	144%	40	36%	19	14	-	75	-
グループ計	2,413	2,440	99%	4,800	50%	222	182	122%	300	74%

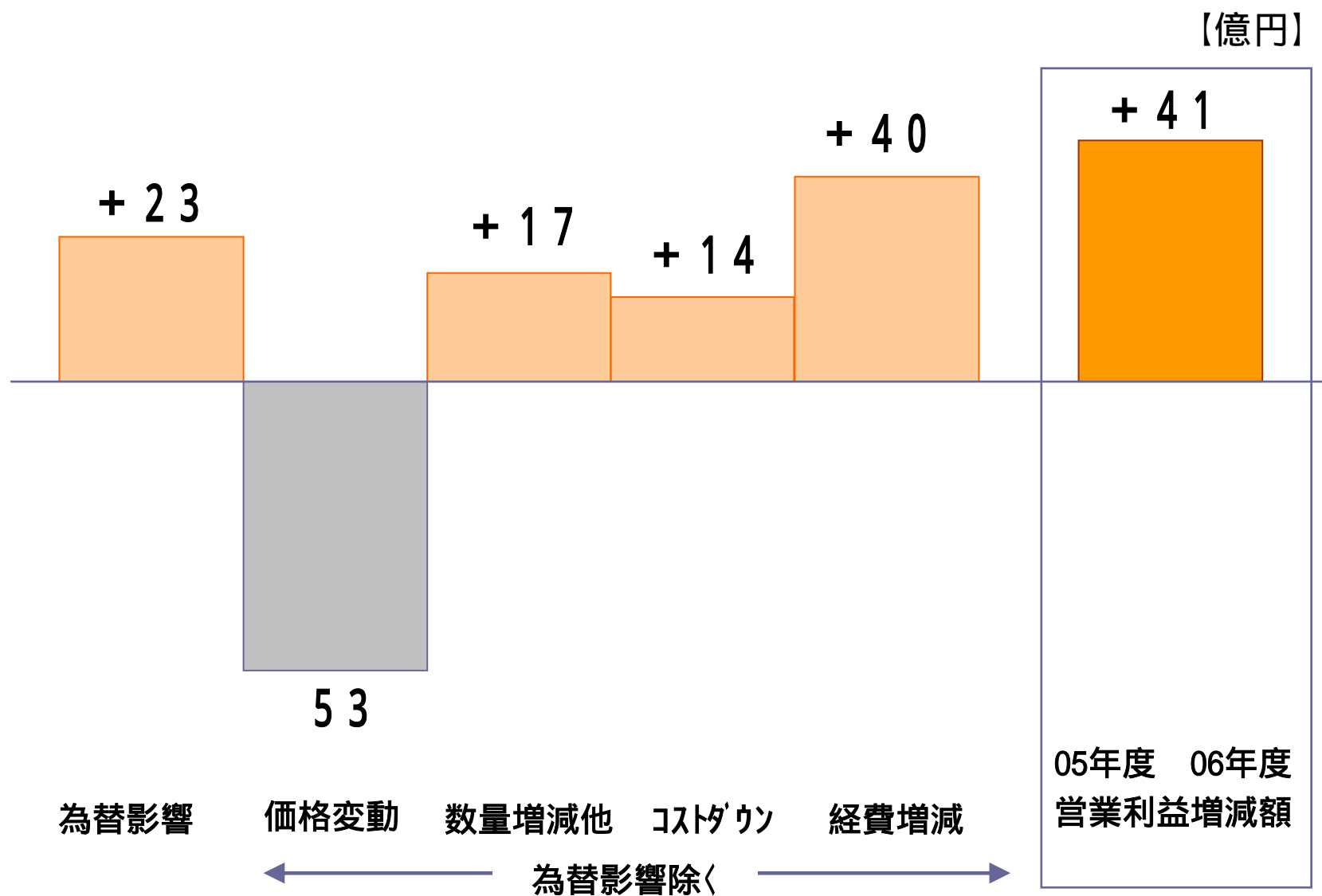
セグメント別売上高・営業利益増減(対前年)



- 情報機器はMFP機器販売がモノクロ・カラーともに伸長。
- オプトはTAC・携帯用カメラユニット中心に売上が拡大。
- メディカルはフィルム販売が好調。
- フォトイメージングは事業終了に向けて売上規模縮小。

- 情報機器はMFP機器販売が増益を牽引。
- オプトはTACフィルムなどの数量増が利益を押し上げ。
- メディカルは前期の機器販売増に伴うフィルム数量増が利益を押し上げ。

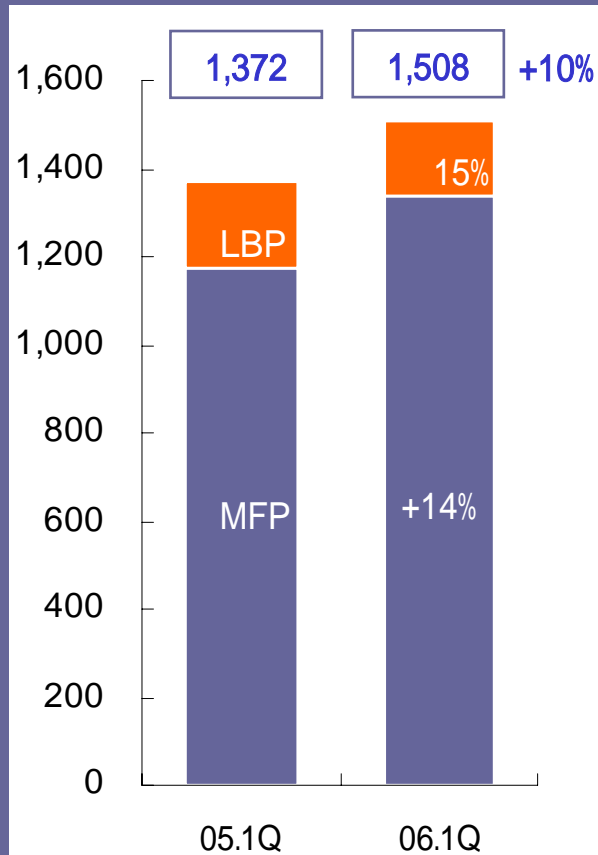
営業利益増減分析(対前年)



<情報機器> 製品別販売状況

セグメント別売上高 (対前年増減率)

[億円]



MFP

- カラー機はbizhub C352/C300の2機種を市場投入、欧州中心に販売拡大。
- モノクロ機も前期にラインアップ一新。地域では米国・アジアが、セグメントでは中高速領域が好調。
- フォトアクションプリントは米国中心に販売堅調。

プリンタ

- カラー機は4サイクル タンデムへの転換を進め高速・高プリントボリューム重視の販売を強化。

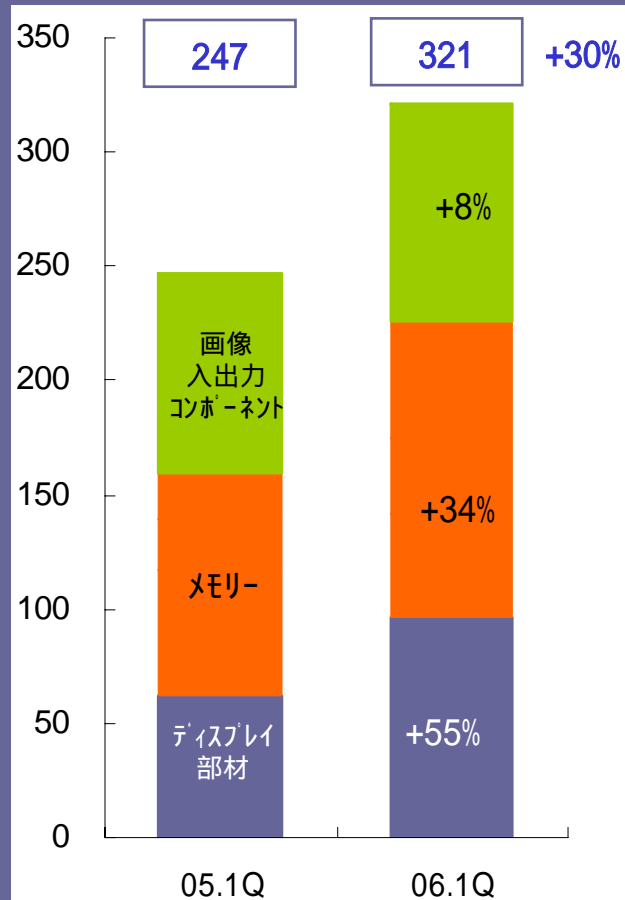
対前年数量増減:		+21%
カラー機		+75%
モノクロ機		+10%
うちフォトアクション		+11%

対前年数量増減:		40%
カラー機		14%
うちタンデム機		+24%
モノクロ機		47%

<オプト> 製品別販売状況

セグメント別売上高 (対前年増減率)

[億円]



ディスプレイ部材

- TACフィルムは、第3ラインの稼働により、通常品・高機能品とも拡大継続。

メモリー

- 光ピックアップレンズは、DVD対物で微増となるも、他レンズが減少。

- ガラス製HD基板は、2.5インチ品を中心に好調な販売が続く。

画像入出力コンポーネント

- 携帯用は、カメラユニットの出荷が本格化。
- レンズユニットは、VCR用が堅調に推移するもDSC用は大きく減速。

対前年数量増減	
通常品	+58%
高機能品	+63%

対前年数量増減	
DVD対物	6%
CD対物	+24%
その他	17%

対前年数量増減	
ガラスHD	+41%

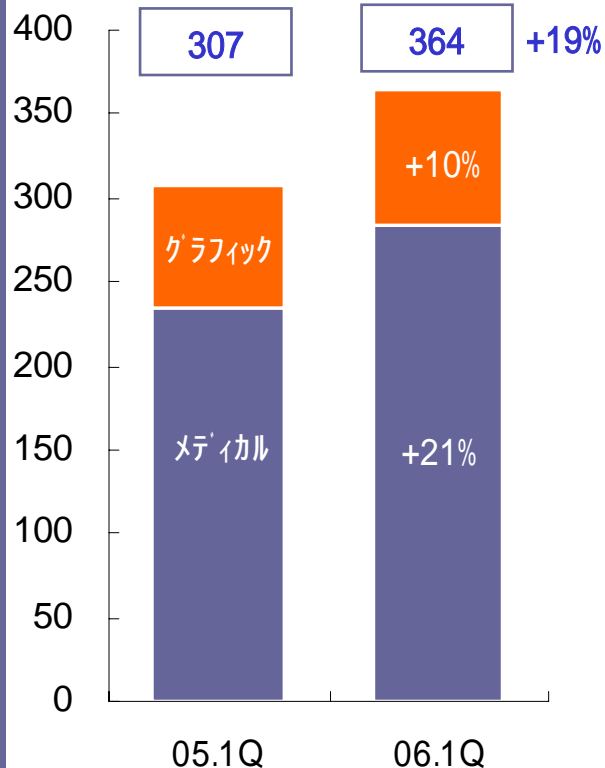
対前年数量増減	
携帯レンズユニット	+44%
携帯カメラユニット	+404%
DSC/VCR レンズユニット	18%

<メディカル & グラフィック> 製品別販売状況



セグメント別売上高 (対前年増減率)

【億円】



メディカル(医療)

- 機器販売は、国内は診療報酬改定の影響で需要が停滞。海外は販売好調。

- フィルム販売は、国内外ともに好調。

対前年数量増減

CR	+2%
イメージャ	3%

対前年数量増減

DRYフィルム	+18%
WETフィルム	+32%

グラフィック(印刷)

- 機器販売はデジタル色校正機が前年並となるが、デジタル印刷機は大きく減少。

- フィルム販売は、海外が好調に推移。

対前年数量増減

色校正機	0%
デジタル印刷機	38%

対前年数量増減

印刷フィルム	+4%
--------	-----

TOPICS - 1) フォトイメージング事業の小田原サイトを 大日本印刷(株)へ譲渡



譲渡の対象

- 小田原サイトの土地・建物及びカラー印画紙製造事業。
敷地面積： 12,440坪
主要設備： カラー印画紙製造設備、断裁・包装設備など。
所在地： 神奈川県小田原市

本件の狙い

- 当該事業(所)の保有資産の有効活用。
- 当該事業従事者の雇用環境の維持。
- 大日本印刷(株)による国内外の顧客に対するカラー印画紙の供給。

主な日程

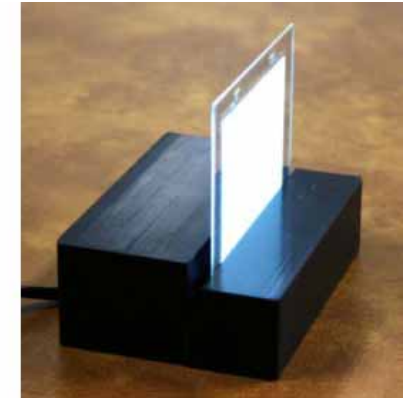
- 2006年7月： 譲渡契約締結。
- 2006年10月： 大日本印刷(株)全額出資による新会社に事業譲渡。

TOPICS - 2) 世界最高発光効率の 有機EL白色発光デバイスの開発に成功

開発した発光デバイスの特徴

- 初期輝度： 1,000カンデラ/m²で
 - 発光効率： 64ルーメン/W
 - 発光寿命： 10,000時間

世界最高の発光効率と
長寿命を実現



当デバイスの開発を可能としたポイント

- 長発光寿命の青色リン光発光材料の開発に成功：
銀塩感光材料開発で培った分子設計技術・精密有機合成技術。
- 世界最高の発光効率と実用化レベルの発光寿命を達成：
青色リン光材料を組み入れた独自の層設計技術と革新的な光学設計技術。
- 種々の光源に適した白色発光領域の実現、様々な色調も可能：
青、赤、緑の3色のリン光発光材料の組み合わせ。

当デバイスの主な使用用途

- ディスプレイ用バックライト、照明。(特徴は、薄い、均一平面光源、水銀フリー)

業績予想

【億円】

	06年度				05年度	
	1Q実績	今回予想 上期	5/11発表値 上期 通期		実績 上期 通期	
売上高	2,413	4,900	4,800	9,800	5,176	10,684
営業利益	222	390	300	800	394	834
(率)	9.2%	8.0%	6.3%	8.2%	7.6%	7.8%
経常利益	215	325	260	700	352	768
当期純利益	106	155	110	300	35	543
設備投資	170	-	-	750	314	676
減価償却費	120	-	-	550	254	512
研究開発費	167	-	-	770	322	670
FCF	82	-	-	500	115	358
為替レート						
US\$	114.50		115.00		109.48	113.31
ユーロ	143.78		135.00		135.65	137.86

2Qはドル/115円 ユーロ/140円にて策定

今回は1Q実績を反映させ、上期見通しを上方修正
年間見通しについては、2Qの進捗状況を踏まえ改めて見直しを行う



業績予想 セグメント別

【億円】

売上高

	06年度				05年度	
	1Q実績	今回予想 上期	5/11発表値 上期 通期		実績 上期 通期	
情報機器	1,508	3,100	3,040	6,400	2,835	6,067
オプト	321	700	610	1,300	515	1,104
メディカル & グラフィック	364	760	740	1,550	683	1,466
その他事業	34	70	70	170	48	102
事業計	2,227	4,630	4,460	9,420	4,082	8,739
フォトイメージング	171	240	300	300	1,057	1,871
HD消去他	14	30	40	80	36	74
グループ計	2,413	4,900	4,800	9,800	5,176	10,684

営業利益

	06年度				05年度	
	1Q実績	今回予想 上期	5/11発表値 上期 通期		実績 上期 通期	
情報機器	161	305	290	690	281	651
オプト	52	100	85	200	79	176
メディカル & グラフィック	27	45	35	85	63	117
その他事業	4	10	10	30	13	27
事業計	244	460	420	1,005	436	971
フォトイメージング	3	20	45	60	7	71
HD消去他	19	50	75	145	35	66
グループ計	222	390	300	800	394	834

今回は1Q実績を反映させ、上期見通しを上方修正
年間見通しについては、2Qの進捗状況を踏まえ改めて見直しを行う

<参考資料> 販売費及び一般管理費

	【億円】		
	06年度 1Q実績	05年度 1Q実績	増減
販売費及び一般管理費	959	989	31
販売費	153	188	35
人件費	384	387	3
研究開発費	167	156	11
その他	254	257	3

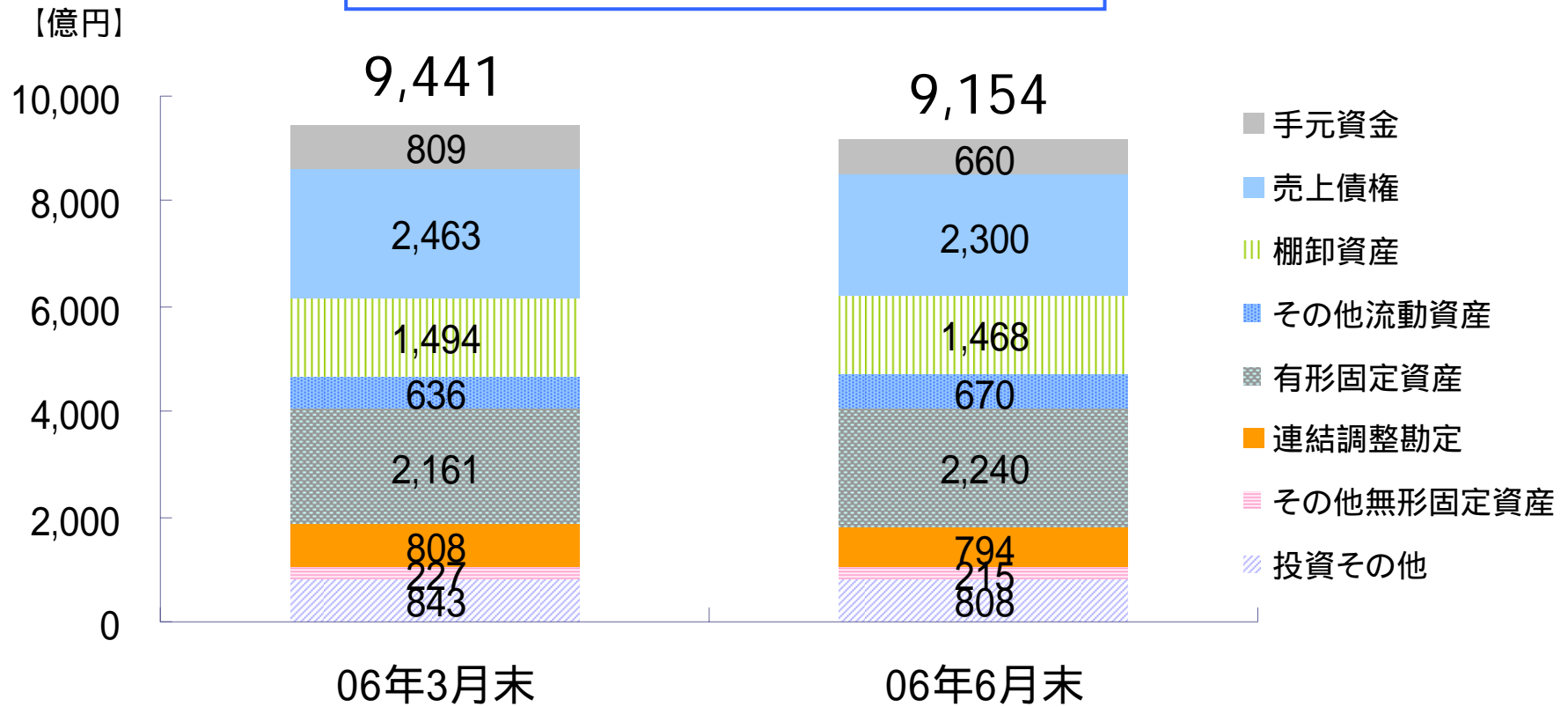
為替影響額: 25 億円 (実質56億円の減)

<参考資料> 営業外収支

			【億円】
	06年度 1Q実績	05年度 1Q実績	増減
営業外収支	8	4	3
受取利息・配当金	6	5	1
その他	16	18	2
営業外収益計	22	23	1
支払利息・社債利息	13	14	1
為替差損	4	0	4
棚卸資産評価・処分損	6	5	1
その他	5	8	3
営業外費用計	30	27	3

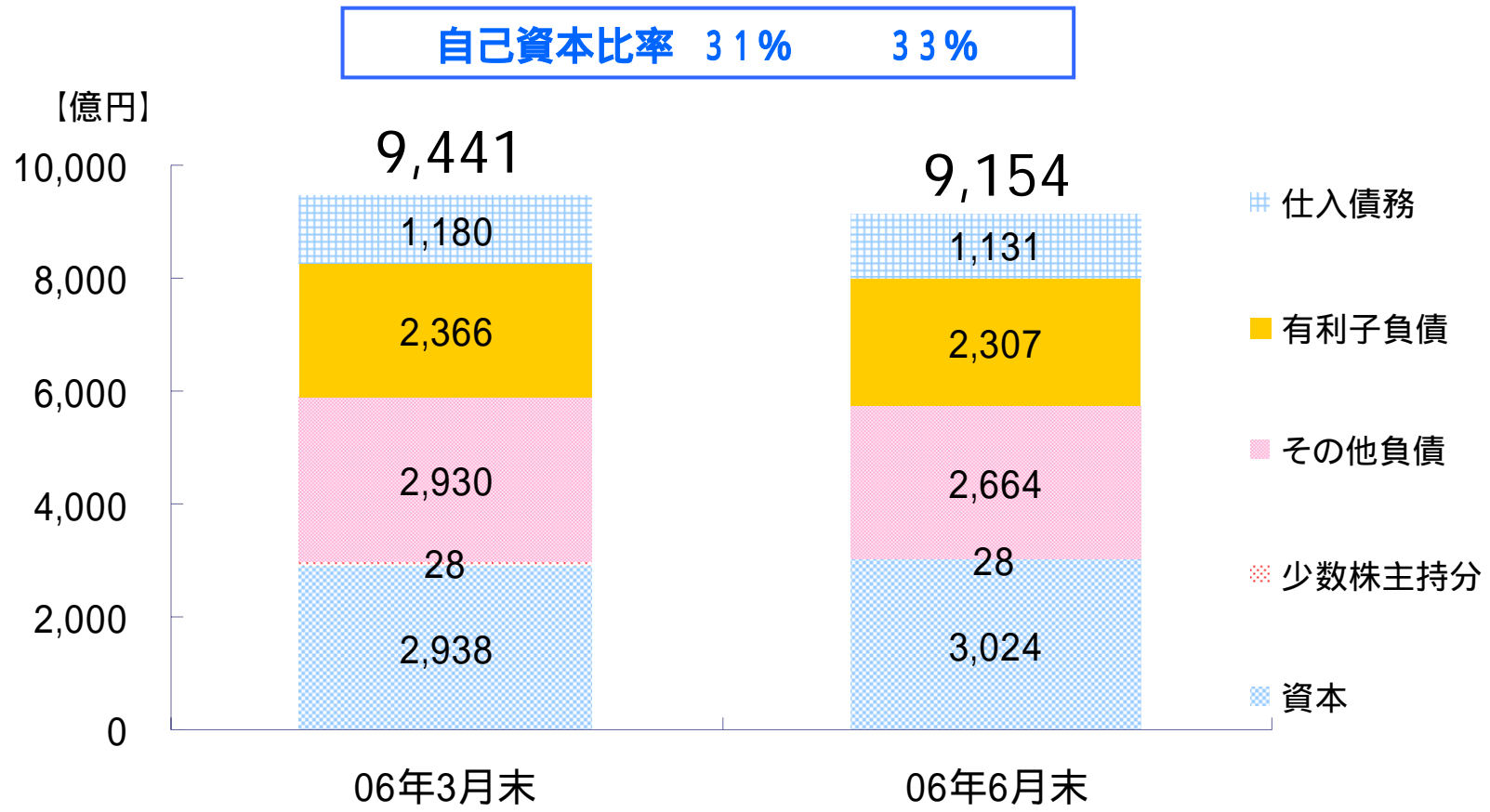
<参考資料> 連結B/S(資産)

フォトイメージング事業で190億円減少



レート \$	117.47	115.24
ユーロ	142.81	146.00

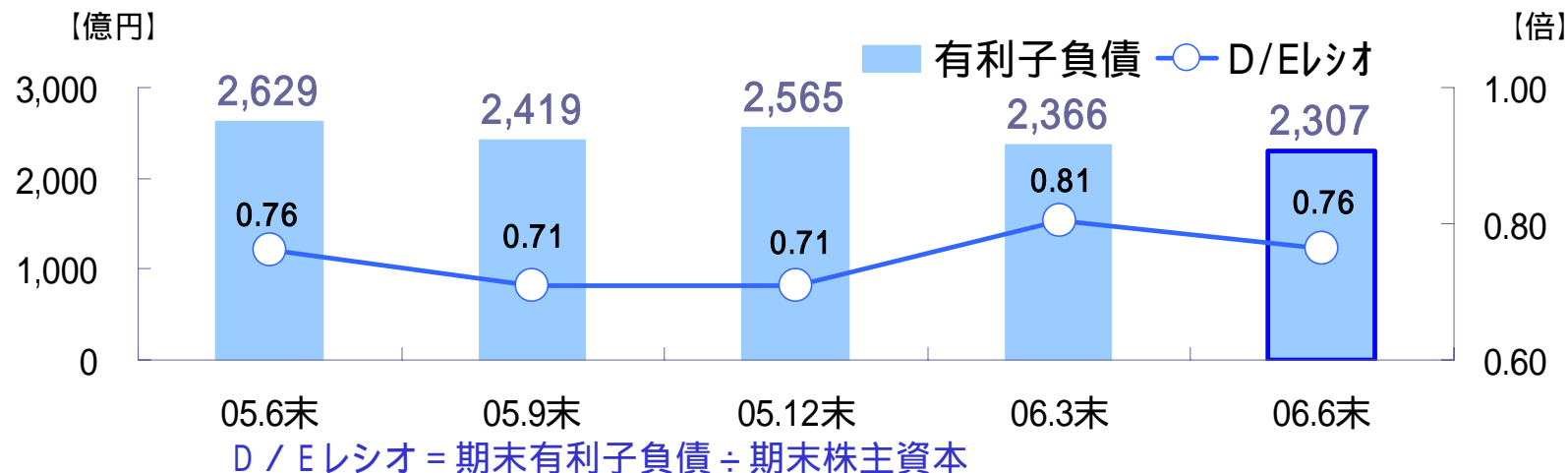
<参考資料> 連結B/S (負債・資本)



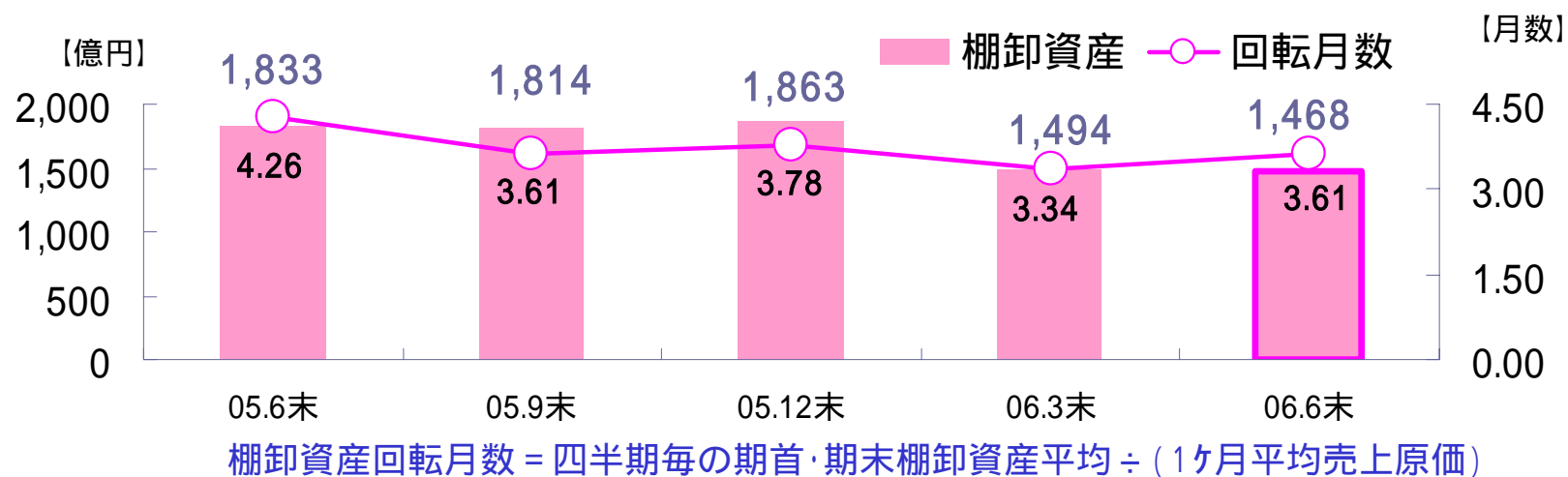
レート \$	117.47	115.24
ユーロ	142.81	146.00

<参考資料> 有利子負債/棚卸資産の推移

有利子負債及びD/Eレシオの推移



棚卸資産及び棚卸資産回転月数の推移



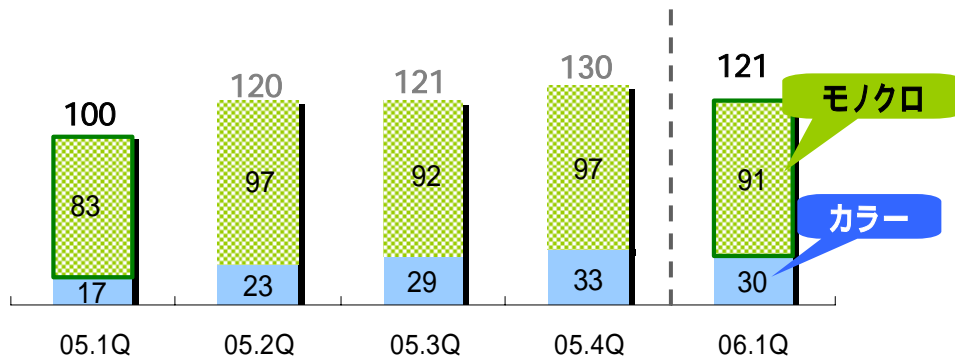
<参考資料> キャッシュフロー

	06.1Q実績	05.1Q実績	【億円】 増減
税金等調整前当期純利益	223	135	88
減価償却費	120	124	4
運転資本増減他	315	295	20
営業活動によるCF	28	36	64
投資活動によるCF	110	120	10
+ FCF	82	156	74
借入金・社債の増減	69	179	248
配当金の支払額	0	27	26
その他	0	0	0
財務活動によるCF	70	152	222

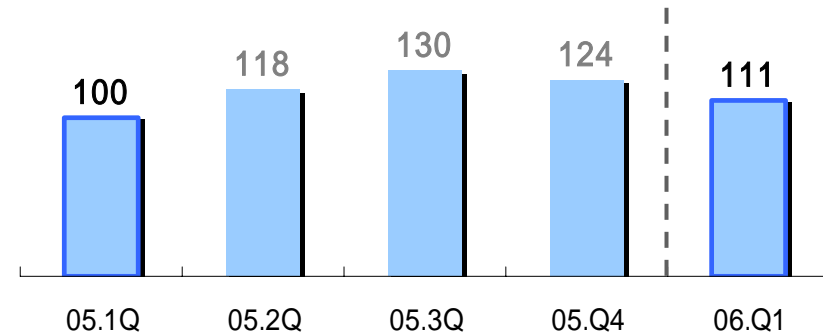
<参考資料> 主要製品販売数量トレンド:情報機器

05年度1Q実績を100とした場合の指数

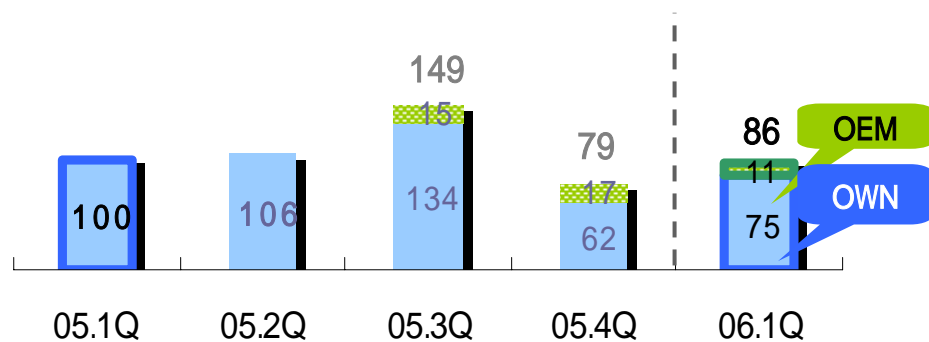
MFP



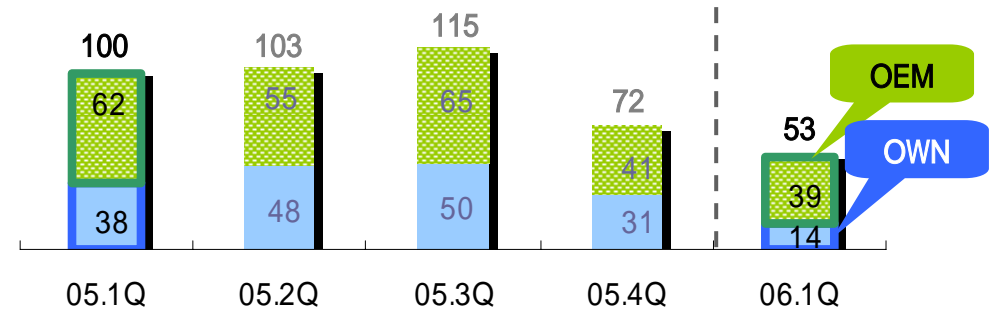
内プロダクションプリント(モノクロ・カラー)



カラーLBP

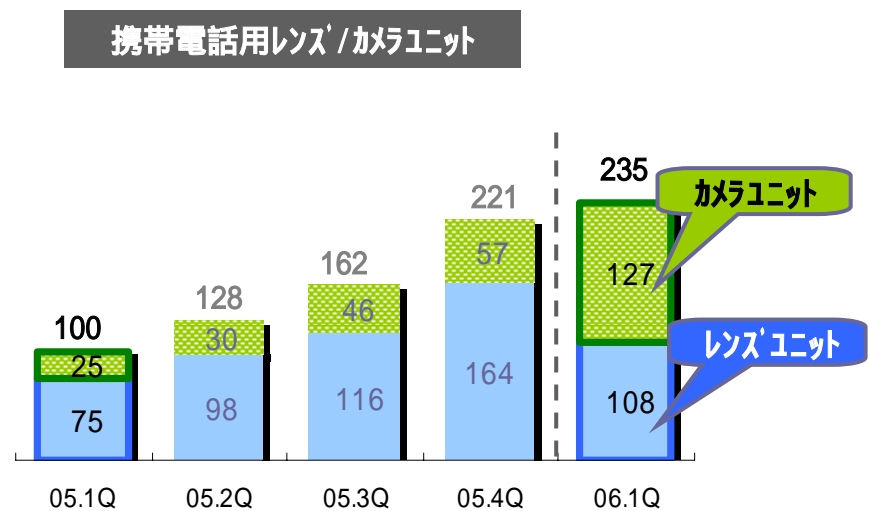
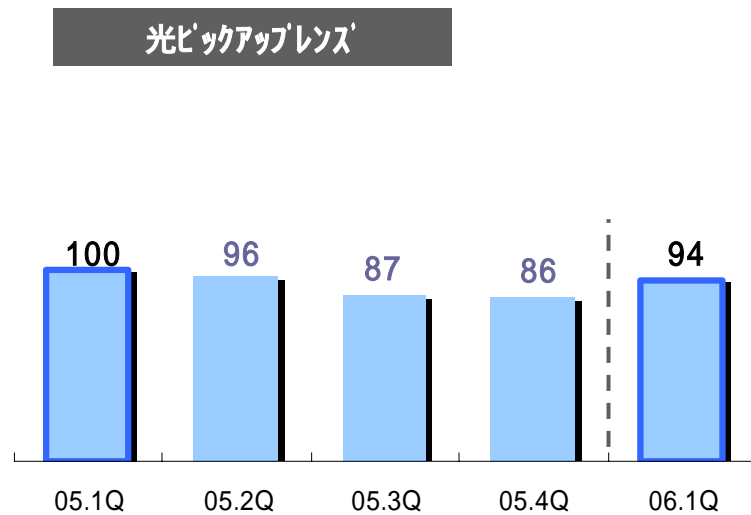
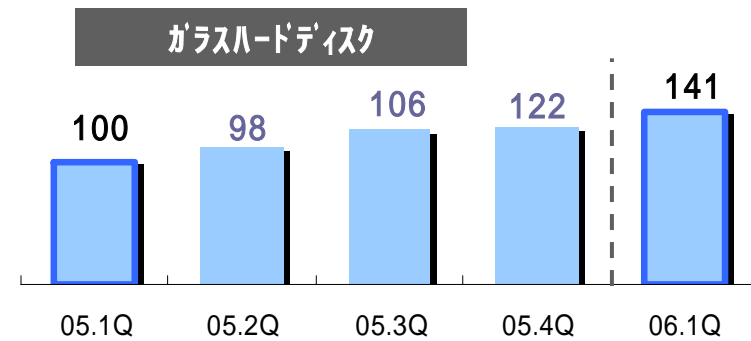
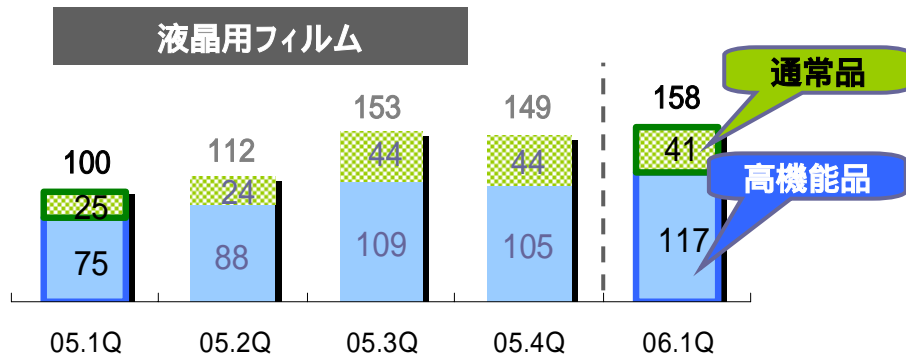


モノクロLBP



<参考資料> 主要製品販売数量トレンド: オプト

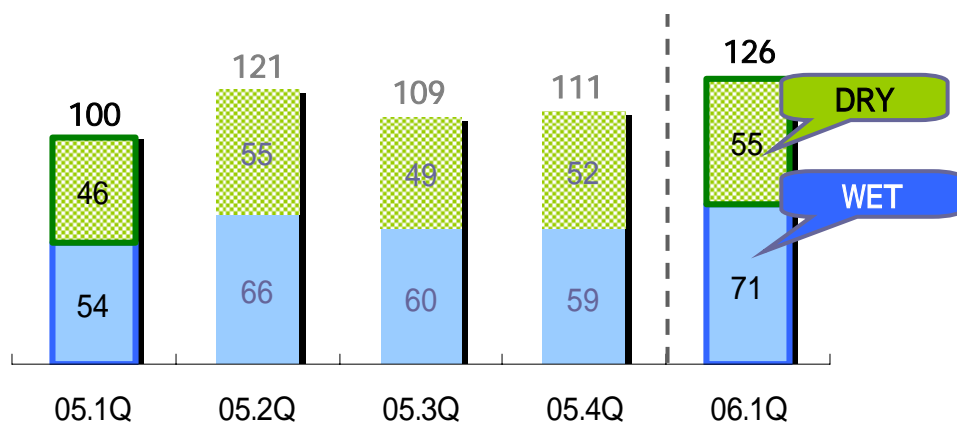
05年度1Q実績を100とした場合の指数



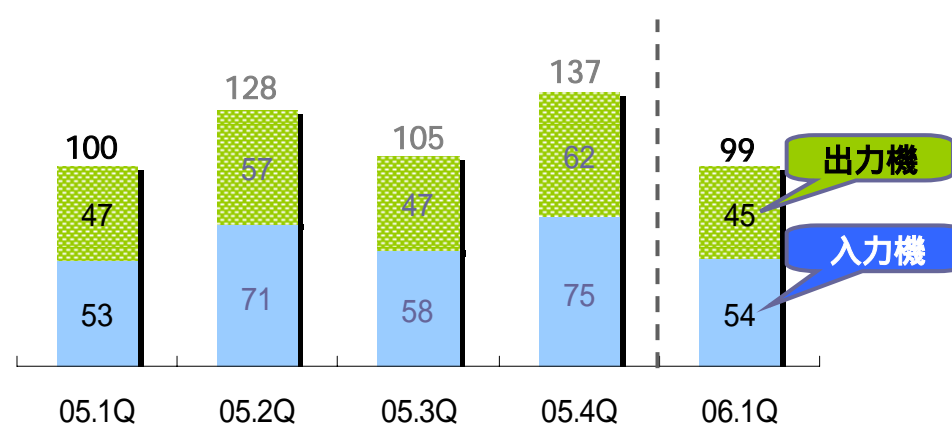
<参考資料>主要製品販売数量トレンド:メディカル

05年度1Q実績を100とした場合の指数

X線用フィルム(DRY/WET)



デジタル画像入出力機



The essentials of imaging